



© WALT DISNEY PRODUCTIONS



●全米フットボール試合に
大珍事！耳長スーパースター
の強烈！大爆笑うしろキック
ウルトラC！
痛快！特撮大喜劇！
■監督ピンセント・マックビーティ
■原作テッド・キー

■エドワード・アズナー
■ドン・リッツ
■ゲイリー・グライムズ
■ティム・コンウェイ



WERE 1 GO ATOMS

背番号00大奮戦

ウォルト・ディズニー作品

ゼロ 背番号00 大奮戦

(テクニカラー)



12月25日<土>より 新春第1弾ロードショー!!

* 前売鑑賞券好評発売中 ￥1,000 (当日 ￥1,300)

時間表 ★元日及び1/10以降は12.20より上映
★大晦日は7.20分の回は上映致しません。

背番号00大奮戦	10.30	2.00	5.30
遙かなる子熊の森	12.20	3.50	7.20

伊勢丹前
新宿文化 (351) 3414

ウォルト・ディズニー作品

© WALT DISNEY PRODUCTIONS



親なし子グマと若者の奇跡の愛が未開の森深く
大自然の美しさとともに綴られる...

文部省特選



遙かなる子熊の森

the Bears and I

はるかなる

〈主題歌〉ジョン・デンバー
RCAレコード (スイート・サレナダー)



パトリック・ウェイン / チーフ・ダン・ジョージ
アンドリュウ・ダガン / マイケル・アンサラ
原作 R・フランクリン・レスリー / 監督バーナード・マックビーティ
(草思社刊)



人も車も、顔なじみ
心が通う、うちのSS

ゼネラルゼネラル石油



戦大奮 背番号00

◆エドワード・アズナー／ドン・ノッツ ◆監督ビンセント・マックビーティ

ブエナ・ビスタ映画配給



アメリカン・フットボールで百ヤードのフィールド・ゴールを軽々とキックする驚異のスーパースターが誕生した、といってもこの名キッカーは人間ではなく、ユーゴスラビア生まれのらば君。背番号はゼロゼロで名前は「ガス」。

はじめハリフタイムのショーに出演するためにスカウトされた「ガス」だが、やがて選手として活躍しはじめ、NFL(ナショナル・フットボール・リーグ)最下位だったチームに全米選手権試合「スーパー・ボウル」優勝をもたらすという愉快なおはなし。ロスアンゼルス・ラムズのホーム・フィールド、ロスアンゼルス・コロセウムを舞台にしたユーモアと笑いがいっぱい爆笑大作である。

主演は「おもいで」のゲイリー・グライムズ、ペテラン・テレビ俳優のエドワード・アズナー、名コメディアン・ドン・ノッツとタイム・コンウェイ、ほかにジョニー・ユナイタスをはじめとする現役のスポーツ解説者が6人出演。さらにロスアンゼルス・ラムズ等プロチームの選手が数多く出演している。

監督ビンセント・マックビーティ、製作総指揮ロン・ミラー、共同製作はクリストファー・ヒブラー。テッド・キーの原作から、アーサー・アルスバーグとドン・ネルソンが脚本を書いた。

〈ものがたり〉

プロフットボール、チームのオーナー、ハンク・クーパー(エドワード・アズナー)は、このところ頭の痛いことがいっぱい。チームのカリフォルニア・アトムズがまた連敗し努力しても集まらない。応援団もベテラン・リーダーがいくら努力しても集まらないし、コーチ探しに弱り果てている有様。おまけに友人のチャリー・グイン(ハロルド・グレイムズ)からは借金の矢の催促だし、ニッチもサッチもいらない秘書のデビー・コバック(リパティ・ウイナムズ)の明るい笑顔だけが慰めだが、このユーゴスラビア二世の娘はアトムズの花形選手ロブ・カーギル(デイツ・バトカス)とつきあっている。

さて話は飛んで、ここはユーゴスラビアの田園にある農場。アンドリア・ペトロビック(ゲイリー・グライムズ)がボールを相手にけんめいに汗を流しているが、やせた彼がいくら蹴っても兄ステファン(ジャクソン・ポストウィック)が軽くキックしたボールのグインと大空に向かって伸びる勢いにはかなわない。ステファンの頑丈な肉体との差で、舞いあ

森の子熊の遙かなる

◆パトリック・ウェイン／チーフ・ダン・ジョージ ◆監督バーナード・マックビーティ

ブエナ・ビスタ映画配給



「THE BEARS AND I」

文明を遠くはなれた未開の森林と紺碧の空を映すブルーの湖。カナディアン・ロッキーマウンテンの大自然のふとろにベトナム帰りの若者が安らぎを求め、三頭の親なし子グマを育てようとする。遙かなる子熊の森はロバート・フランクリン・レズリーのノンフィクションを映画化したデイズニー・プロ作品で、実さいの子グマの成長を追って著者レズリーの苦闘の日々のエピソードを感動的に綴った作品となっています。

主演はジョーン・ウェインの長男のパトリック・ウェインと「ハリウッド・トント」アウトルローでおなじみのチーフ・ダン・ジョージ。カントリー・フォークの人気歌手ジョン・デンバーが自から作詞作曲の主題歌をうたっているのも話題です。

〈ものがたり〉

カナダの奥地にひろがる大森林地帯ホワイト・バード。ベトナム戦線から帰った若者ボブ・レズリー(パトリック・ウェイン)が、その未開地にはるばるやってきたのは亡き戦友との約束を果たすためです。

ボブが訪ねるひとは湖のほとりのインディアン部落の老酋長ビーター・アタスカネー(チーフ・ダン・ジョージ)で、この老人は戦友の父親なのです。

ボブは戦線から帰った戦友の遺品を手渡して約束を果たすと、あらためてホワイト・バードの清らかな自然に眼をみはりました。戦場が汚れた身と心を清めるのにこれ以上の環境があるだろうか。

花ごう岩の峰、水晶のように澄みきって輝く湖面、清らかな水に流れる溪流のひびき。幸い部落の雑貨商が湖の対岸にある小屋を貸してくれることになり、ボブは喜んでその小屋に住みつくことにしました。

小屋には野生の動物が顔をみせるようになり、タルグーツ族の老酋長も時折やってくるようになり、そしてある日のこと、突然の銃声に驚いたボブは二人の猟師を連れ、そのあと森の中の樹上で母の死体の死体を運ぶのを見つけた。

ボブは母親を失ったヨチヨチ歩きの子グマがふびんでならず、思いきって自分の手で育ててみようと思いましたが、オスの2頭には「パンチ」と「スクラッチ」メスの1頭には「ラスティ」という名前をつけ、それからの毎日は森の中で灰色グマや大鹿から身を守る術を教えるのが日課になりました。

が、ボールも月とスッポンのちがいで。アンディはくさってサツカーの練習をきらめ、ボールを草むらに投げた。ところがそばにいたガスが、ヒョイとそのボールを蹴りあげると、何と大空に向かって一直線です。そのまま見えなくなってしまう。ガスはアンディが可愛がっているらばだだったのだ。

はなしはもとにもどって、このアンディとらばのガスの記事を、デビーが父親から送られた故郷の新聞で読んだ。何げなくその話をするとき、クーパーの頭にひらめくものがあり、早速ハリフタイム担当をユーゴに派遣した。やせっぽちの青年とらばのコンビは、まかりまちがってもハリフタイムの応援合戦にもついでと彼は考えたのである。

クーパーはついに借金の返済にゆきづまり、全米選手権決定戦「スーパー・ボウル」の勝利を賭けることにした。もしアトムズが「スーパー・ボウル」に優勝すれば借金は帳消しになる代わり、負けた場合はチームをグインに譲り渡すという賭けである。クーパーには危険な賭けだが、奇跡が起こらないとは限らない。

さて、ハリフタイムに登場したガスのキックは軽くゴールポストを通り抜け、観衆はヤンヤの大喝采。その観衆を見たクーパーにまたひらめくものがあり、ひとつ次のゲームにガスを出場させようと思いついた。らばがフットボールに出場するなどは前代未聞だが、ルールを調べてみるとブレイヤーが人間に限るとはどの条文にもない。

クーパーが願った奇跡はついに起こり、やせっぽちのアンディとらばのガスのコンビがアトムズにまず最初の勝利をもたらした。あわてたのは賭けの相手グインで、早速ガスの誘拐をもちろみ、悪徳弁護士にサギ師のスピンナー(トム・ボスリー)と子分のクランクケース(タイム・コンウェイ)を雇わせた。

さてガスの誘拐作戦はどうなるか?誘拐はあの手この手で二度、三度ついに本物そっくりの偽ガス君まで登場して、笑いとスリルのうちに西地区代表選手権試合、さらに全米選手権「スーパー・ボウル」の熱戦へと展開していく。

◆主役(ガス君)こと耳長ラバ……

主人公ガス役のらばは当年とって12才。人間の年令でいうと大体60才位である。これまで数多くの映画に出演しているが、今回初めて主役で数多く登場した。

身長132cm、体重317kg。彼の茶色の大きなひとみを見れば、ただのハリウッドの間抜けならばとは違ふ事がわかるだろう。

ところがその子グマたちを、わざわざインディアン部落に連れていったのがトラブルのはじまりで、クマをあがめるタルクーツ族のインディアンたちはロープにつなげられた子グマに驚き、騒ぎが大きくなりました。

インディアン信仰はそれとして、あくまで子グマを育てる決意のボブは、それから数日後に公園局の役人の訪問を受け、タルクーツ族の立退き問題への協力を頼まれました。

ところがその仲介がかわってタルクーツ族の反感を招くことになり、冬の間はお互いに休戦となりました。

やがて春がきて、目にもえて子グマが成長したのを見ると、ボブは野生に帰す日が近いのをさとりました。一方、公園局の作業員とインディアンたちとのトラブルは激化し森林に猛火がひろがる事件が起こりましたが、消火作業のうちにお互いの連帯が生まれ、それが和解のきっかけとなりました。

ボブがいよいよ子グマを手放す決意をした日、湖をカヌーでわたって老酋長がやってきました。ボブの骨折りで、タルクーツ族の全員が「森林警備隊代理」として森林にとどまるようになった報告とお礼を兼ねての訪問です。

ボブは酋長のカヌーで森の小屋を立退き、後を追ってくる「パンチ」をロープで打ちました。人間の恐さを最後に教えるのが自分の義務と知ったから。去っていく「パンチ」を見送る悲しみのなかで、ボブは自分も森林警備隊に入ろうと心に誓うのでした。

◆主題歌(ジョン・デンバー)スイート・サレンダー

12弦のギターからこぼれる軽やかなメロディとともに、ジョン・デンバーの歌声がいきいきと、生きることの喜びをうたうように流れる。

金縁のまん丸眼鏡と金髪のおかっぱ頭がデンバーのトレード・マークで、ロックミュージックのミックキー・マウス」というのが彼のあだ名。

1943年ニューメキシコ州の生まれで、20才になった頃からロスの子なクマで歌いはじめた。ソング・ライターとしての最初の成功は「ビーター・ポール・アンド・マリ」の「マリ」・トラパスのために作曲した「悲しみのジェット・ブレイトン」。そして「ロッキー・マウンテン・ハイ」の世界的大ヒットで文字通りカントリー・フォークのスーパー・スターとなった。

彼の歌の魅力は、人生を力づく肯定し、生きることの美しさを、よろこびを卒直にうたいあげるところにあり、彼自身も「偉大な作曲家より、秀れたエンターテイナーでありたい」と語っている。